学校番号	3006

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	国語演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	必携国語総合セミナー（浜島書店） ＬＴ現代文基本（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・進学するために必要な国語常識を、問題練習を通して身につけましょう。
・論理的な文章に触れ、丁寧な読みを習慣づけていきましょう。
・筋道の立った確かな手順に従って「論理的に考える」ことを身につけてもらいます。
・ほぼ毎時間文章の要約に取り組んでもらいます。
・少人数を活かして個別指導を多く取り入れた授業を行います。授業の中で分からないことがあれば、遠慮せずに質問するようにしてください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】
進学の際に必要な語彙力や漢字の知識の基礎を培う。

【思考力、判断力、表現力等】
文章中の各段落の役割を考えることができ、文章全体の内容をつかむことができる。

【学びに向かう力、人間性等】
文章を読むときに主観的な読み方をすることなく、論理的に考えられるようにする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会に出るために必要な漢字や言葉だけではなく、現代用語や文学史等の国語常識を身につけている。	論理的な文章の因果関係や対立関係、共通点に注意して本文の情報を読解している。また、小説を読むときには主観的な読み方をすることなく、必ず本文から解答の根拠を探すことができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	・テキスト内の必修漢字を学ぶとともに、語彙を増やす。 ・評論、小説、随筆等のそれぞれのジャンルの文章を扱い、論理的に文章を読解する。 ［教材］ 「国語総合セミナー」第一章 「LT現代文基本」1～8回	a：必修漢字を学び、語彙を豊かにしている。 b[　読　]：各ジャンルの文章を読み、論理的な文章の因果関係や対立関係、共通点に注意して本文の情報を読解している。 c：各段落の役割を考えることができ、論理的に考えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	授業態度 課題物の提出
2学期	・近代を中心に文学史的な知識を身につける。 ・引用を用いた主張をとらえる。 ［教材］ 「国語総合セミナー」第二章 第三章 「LT現代文基本」9～18回	a：我が国の言語文化に対して理解を深めている。また、日本文学史においてそれぞれの作品の特徴と作者について理解している。 b[　書　]：設問の内容に応じて、自分の考えや解答を適切な言葉で表現することができている。 c：自分の考えや解答を適切な言葉で表現しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	授業態度 課題物の提出
3学期	・テキスト内の重要漢字を学ぶとともに、語彙を増やす。 ・複数の文章や資料を関連付けながら、必要な情報を素早く的確に見つけ出す力を養う。 ［教材］ 「国語総合セミナー」第四章 「LT現代文基本」19～22回	a：重要漢字を学ぶともに、語彙を増やしている。 b[　読　]：必要な情報を効率よく見つけることができ、自分で解釈せず、書かれていることだけを正確に読み取ることができる。 c：実用的な文章に対して、目的に応じて情報を読み取ろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	授業態度 課題物の提出

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度
※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間
・書くこと　…　（　２０　）時間
・読むこと　…　（　３０　）時間